

# 薬物生理学 生物物理化学研究室

教授 竹口紀晃  
講師 森井孫俊  
助手(前) 浅野真司  
助手 酒井秀紀

## ◆ 著 書

- 1) 酒井秀紀, 竹口紀晃: クロライドチャネル. 「GTP結合蛋白質」宇井理生, 上代淑人監修, 高井義美, 堅田利明, 成宮周編集, 95-96, 羊土社, 東京, 1996.
- 2) 浅野真司: 胃. 「生物薬科学実験講座9. ホルモン・生理活性物質 I」市川厚, 岡孝己編集, 157-176, 広川書店, 東京, 1996.

## ◆ 原 著

- 1) Asano S., Tega Y., Konishi K., Fujioka M., and Takeguchi N.: Functional expression of gastric  $H^+$ ,  $K^+$ -ATPase and site-directed mutagenesis of the putative cation binding site and catalytic center. *J. Biol. Chem.* 271: 2740-2745, 1996.
- 2) Morii M., Hayata Y., Mizoguchi K., and Takeguchi N.: Oligomeric regulation of gastric  $H^+$ ,  $K^+$ -ATPase. *J. Biol. Chem.* 271: 4068-4072, 1996.
- 3) Sakai H., Ikari A., Kumano E., and Takeguchi N.: A cyclic GMP-dependent housekeeping  $Cl^-$  channel in rabbit gastric parietal cells activated by a vasodilator ecabapide. *Br. J. Pharmacol.* 119: 1591-1599, 1996.
- 4) Sakai H., Kakinoki B., Diener M., and Takeguchi N.: Endogenous arachidonic acid inhibits hypotonically-activated  $Cl^-$  channels in isolated rat hepatocytes. *Jpn. J. Physiol.* 46: 311-318, 1996.

## ◆ 総 説

- 1) 竹口紀晃, 浅野真司, 森井孫俊: 膜輸送蛋白一構造と機能, 発現調節に関する最新の基礎研究の進歩— $H^+$ ,  $K^+$ -ATPase,  $H^+$ -ATPase. 特集「膜輸送蛋白異常症」, 日本臨牀54: 595-600, 1996.

## ◆ 学会報告

- 1) Asano S., Tega Y., Konishi K., Fujioka M., and Takeguchi N.: Functional expression and site-directed mutagenesis of gastric  $H^+$ ,  $K^+$ -ATPase. International symposium on membrane proteins: structure, function and expression

control. 1996, 2, Fukuoka.

- 2) 森井孫俊, 鈴木秀博, 竹口紀晃: プタ胃ベシクルのADP加水分解活性. 日本薬学会116年会, 1996, 3, 金沢.
- 3) 鈴木秀博, 森井孫俊, 竹口紀晃: プタ胃ベシクルのflippase活性. 日本薬学会116年会, 1996, 3, 金沢.
- 4) 浅野真司, 手鹿康宏, 松田彩子, 竹口紀晃: 胃 $H^+$ ,  $K^+$ -ATPaseのイオン認識部位の同定とその性質. 日本薬学会116年会, 1996, 3, 金沢.
- 5) 竹口紀晃, 酒井秀紀, 浅野真司, 森井孫俊: 胃壁細胞における酸分泌にまつわる攻防. 日本薬学会116年会シンポジウム, 1996, 3, 金沢.
- 6) 五十里彰, 酒井秀紀, 竹口紀晃: ラット単離肝細胞における $Na^+$ / $Ca^{2+}$ -exchangerの存在. 第73回日本生理学会大会, 1996, 4, 福井.
- 7) 酒井秀紀, 竹口紀晃: ラット単離大腸粘膜における新規 $Cl^-$ 分泌機構. 第73回日本生理学会大会, 1996, 4, 福井.
- 8) 浅野真司, 手鹿康宏, 坂本晋也, 松田彩子, 竹口紀晃: 部位特異的変異導入法を用いた胃プロトンポンプのイオン認識部位の同定とその性質. 日本生化学会北陸支部第14回大会, 1996, 6, 富山.
- 9) 竹口紀晃: The most uphill transportに魅せられて. 日本薬学会北陸支部第94回例会特別講演, 1996, 6, 富山.
- 10) 坂本晋也, 手鹿康宏, 浅野真司, 竹口紀晃: 胃 $H^+$ ,  $K^+$ -ATPaseのカチオン認識部位の同定. 日本薬学会北陸支部第94回例会, 1996, 6, 富山.
- 11) 手鹿康宏, 浅野真司, 松田彩子, 竹口紀晃: 胃 $H^+$ ,  $K^+$ -ATPaseの $\alpha$ サブユニットのGlu-345のカチオン輸送に対する役割. 第69回日本生化学会大会, 1996, 8, 札幌.
- 12) 松田彩子, 浅野真司, 清水喜苗, 手鹿康宏, 竹口紀晃: 部位特異的変異導入によるプロトンポンプ阻害剤SCH 28080の結合部位に関する考察. 第69回日本生化学会大会, 1996, 8, 札幌.
- 13) 鈴木秀博, 鎌倉昌博, 森井孫俊, 竹口紀晃: 胃ベシクルのリン脂質flippase活性. 第69回日本生化学会大会, 1996, 8, 札幌.
- 14) 浅野真司, 手鹿康宏, 松田彩子, 坂本晋也, 竹口紀晃: 胃プロトンポンプの機能部位の決定—イオン認識部位, プロトンポンプ阻害剤の反応部位についての考察. 第18回生体膜と薬物の相互

作用シンポジウム, 1996, 11, 徳島.

- 15) 清水貴浩, 大野護, 酒井秀紀, 竹口紀晃:  
ヒト肺小細胞ガン培養細胞のカチオンチャンネル.  
第18回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム,  
1996, 11, 徳島.
- 16) 五十里彰, 佐野公美, 酒井秀紀, 竹口紀晃:  
ウサギ胃酸分泌細胞のcGMP感受性Cl<sup>-</sup>チャンネル  
と細胞防御. 第18回生体膜と薬物の相互作用シン  
ポジウム, 1996, 11, 徳島.
- 17) 池田敦, 竹口紀晃: プロトンポンプ阻害剤  
の胃壁細胞内Ca<sup>2+</sup>濃度に及ぼす影響. 日本薬学  
会北陸支部第95回例会, 1996, 11, 金沢.

#### ◆ その他

- 1) 竹口紀晃: 肝臓における解毒作用と解毒ポン  
プ. 平成8年度富山医科薬科大学公開講座.  
1996, 6, 富山.

## 薬学部附属薬用植物園

### 薬用植物園研究室

園長(併任)	百 瀬 雄 章
助 教 授	有 澤 宗 久
助 手	鈴 木 正 一
技 官	藤 野 廣 春
技 官	辰 尾 良 秋
技 官	山 崎 紀 仁

#### ◆ 原 著

- 1) Suzuki S., Hayashi T., Kasahara K., and  
Arisawa M.: Seed Germination and Diterpenoid  
Production in Seedling of *Scoparia dulcis* L.  
Natural Medicines, 50: 265-268, 1996.

#### ◆ 学会報告

- 1) 鈴木正一, 藤野廣春, 辰尾良秋, 山崎紀仁, 有澤  
宗久: オオバナオケラにおける種内変異とその育種  
的利用. 日本育種学会第89回講演会, 1996, 4,  
川崎.

#### ◆ その他

- 1) 鈴木正一, 藤野廣春, 辰尾良秋, 山崎紀仁: 生  
産性からみた朮類基原植物の評価と生薬の特性.  
平成7年度「和漢薬・バイオテクノロジー研究」  
研究報告書, 68-73, 1996.